



SG

REPORT

第35回

グランド チャンピオン

6/24~29 ボートレース戸田

優勝戦1周2マーク



優勝を決め仲間に祝われる池田



**巡ってきたチャンスは逃さない！
池田浩二が3度目のグラチャン制覇を果たす**

戸田でのグラチャンは09年以来、16年ぶりの開催。週始めに台風が発生し、一時は順延も危ぶまれたが、それも杞憂に終わり、シリーズ中盤からは真夏を思わせる天候のもとで行われた。

モーターとボートは約11か月使用されていて相場はすでに固まっていた。前検のモーター抽選では原田幸哉がエース格の47号機を引いた他、宮地元輝、山口剛、上野真之介らも好素性機を引き当てた。

初日はその原田がインから力強く逃げて圧勝。西山貴浩は連勝を飾り、ドリーム戦は選考1位の池

田浩二が前検の不安を全く感じさせない逃げ切り勝ちを収めた。

3日目にもなると機力差がハッキリとし始めた。その中で明らかに目立っていたのが湯川浩司と中田竜太だった。湯川は伸びに振った調整が見事にハマリ節イクラスの直線型に。一方の中田も伸びびを中心に足と回り足もパワフルで予選1位通過が見えていた。だが、予選ラストの4日目11Rで中田は痛恨の4着。オール2連対を守っていた池田が逆転で予選1位通過を決めた。

準優は10Rで桐生順平が逃げ切り、2着は佐藤翼が吉田拓郎を競

10R準優勝戦

着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	桐生 順平	1	11
2	④	×	佐藤 翼	4	24
3	⑤		吉田 拓郎	5	16
4	③	△	上條 暢嵩	3	12
5	⑥		宮地 元輝	6	13
6	②	○	長田 頼宗	2	13
2連単 ①-④ 380円 2番人気 逃げ					
3連単 ①-④-⑤ 1510円 4番人気					

11R準優勝戦

着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	中田 竜太	1	04
2	②	○	峰 竜太	2	06
3	④	△	石野 貴之	4	12
4	⑥		西山 貴浩	6	22
5	③	×	深谷 知博	3	06
6	⑤		井口 佳典	5	18
2連単 ①-② 330円 1番人気 逃げ					
3連単 ①-②-④ 840円 1番人気					

12R準優勝戦

着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	池田 浩二	1	05
2	④	×	片岡 雅裕	4	06
3	②	△	原田 幸哉	2	07
4	⑥		前田 将太	6	12
5	③	○	湯川 浩司	3	10
6	⑤		椎名 豊	5	10
2連単 ①-④ 900円 4番人気 逃げ					
3連単 ①-④-② 3050円 7番人気					

優勝戦メンバー

予想	艇番	選手名	F・L	モーター			今回成績				
				出	行	伸	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
◎	◎	① 池田 浩二		◎	○	○	① -05	②② 六13三12	②② 二26四15	② 五12	① -05
×	○	② 中田 竜太		◎	◎	◎	① 三09	② 五10	①① 二14四13	④ 四15	① -04
○	×	③ 桐生 順平		△	○	○	④④ 二10四15	① 六15	①① 三11-14	① 五09	① -11
△	△	④ 峰 竜太	F	◎	◎	◎	② 二12	②① 四20-12	③③ 五18三12	② 五11	② 二06
		⑤ 佐藤 翼		◎	◎	○	③③ 五15四09	① 一14	②⑤ 四07三19	② 六15	② 二24
		⑥ 片岡 雅裕		◎	◎	○	②③ 六11三09	④ 五11	① 一10	④③ 四11三17	② 四06

展示速報での採点

12R

	S展	周回
池田 浩二	A	S
中田 竜太	S	S
桐生 順平	A	A
佐藤 翼	A	A
片岡 雅裕	A	A
峰 竜太	A	A

*当日のスマホマクールで
配信したものです

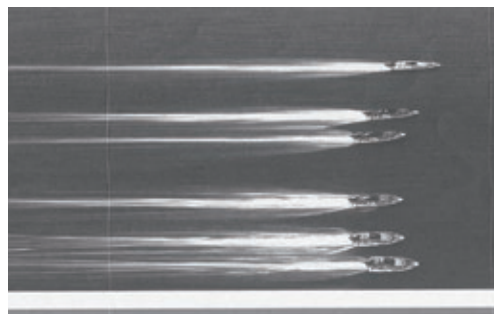
優勝戦結果

着順	艇番	予想	選手名	タイム	進入	S T
1	①	◎	池田 浩二	1.49.4	1	13
2	②	○	中田 竜太	1.50.9	2	19
3	③	△	桐生 順平	1.51.9	3	22
4	⑤		佐藤 翼	1.54.0	5	23
5	⑥		片岡 雅裕		6	19
6	④	×	峰 竜太		4	23
2連単 ①-② 440円 2番人気 逃げ						
3連単 ①-②-③ 1140円 3番人気						

り落とした。さらに11Rでは中田がコンマ04のスタートから逃げて埼玉勢3人の6強入りが決定。そして12Rは3カドに引いた湯川V Sイン池田の構図だったが、池田がうまく湯川のまくりを抑えて逃走。上手くブイ際を差した片岡雅裕が2着に入り優勝戦メンバーが決まった。

迎えた優勝戦当日。この日の最高気温は33℃とうだるような暑さだが、本場は大盛り上がりとなった。最寄りの戸田公園駅では送迎バスに乗りためファンが長蛇の列を作り、入場は昨年のダービーを超えるほどで、地鳴りのような歓声が何度も聞こえた。

そんな中、行われた優勝戦。ピット離れで桐生が片岡にのぞかれはしたものの、持ちこたえて進入は枠なりの3・3。風は3mの微風だったが展示と違いホーム向かいで、これが少なからず勝負の明暗を分けたかもしれない。トップ



スタートは池田のコンマ13。それに対して2・6号艇は19・23でこれでは池田に余裕が生まれる。池田は悠々と1Mを先制して押し切り勝ち。2着は差し追走となった中田。3着争いは佐藤が優位に運んでいたが、2周1Mで桐生が逆転した。

勝った池田はグラチャン3度目の優勝。戸田は初Vとなり24場制覇へ残すは若松だけとなった。8月にはメモリアル出場が決まっているだけに、ここで新たな偉業を達成するかもしれない。

売り上げについて触れておくと目標の145億円に対して161億7806万6400円と目標を大きく上回る盛況で終わった。戸田では昨年クラシック、ダービーと二つのSGが行われたがクラシックが139億円、ダービーが141億円だったことを考えても大成功で終わったことは間違いない。

戦い終わって—

中田竜太(2着)

これ以上合わせられないというぐらいに合わせられた状態でレースに行けたつもり。地元でSGの優勝戦に乗れて、そこに関しては良くやれたと思っている。実力をつけるのは今からでも遅くないと思って頑張りたい。

桐生順平(3着)

とにかくスタートですね。向かっているのは分かっていたけど、ずっと追いで練習していましたからね。エンジン自体は悪くなかったです。

佐藤翼(4着)

正直、あそこまでSが遅いとは思わなかったし、質も悪かったです。もう少しSの質とタイミングが良かったら、1と2の間に入れたと思う。

片岡雅裕(5着)

まあ、こんなもんですね。展開もなかった。ただ、2マークはもう少しうまく回ったかったですね。仕上がりは悪くなかった。また頑張ります。

峰竜太(6着)

敗因は戸田水面。狭い。ほぼほぼ引き波に入っていました。スタートで並んだ時点でそうなる覚悟はしていました。足は抜群でした。

池田浩二の優勝で幕を閉じた今回のグラチャンだったが桐生順平、中田竜太、佐藤翼の地元3選手が大会をさらに盛り上げた。特に中田は52番目の選出で予選1位通過まであと少しのところまでいた。だが4日目11Rでスタートを遅れてしまい、1Mも行き場を失った。レース後は「弱気だった。自分が選手として持っている悪い部分が出た」と反省しきりだった。結果的にこのレースが優勝の明暗を分けただけに悔しさは人一倍だっただろう。この悔しさはいつかきつと晴らしてくれるはずだ。



中田竜太



佐藤翼



桐生順平

この歳になってSGを獲るのは
想像がつかなかった
今後今ままでやってきたことをやるだけ

優勝したお気持ち。

今SGを獲るのは出来すぎですね。この歳になって想像がつかない。まして選考1位から優勝をできると思っていなかったです。ここ2か月くらいペラ難民だったし、今節もあまり叩いてない。戸田だったらこんな感じかな？と思っ

優勝戦まで、本番を振り返って。

緊張はなかった。今日も大した作業はしていない。やってもよく分からないし、レースして「こうだったな？」と感じるタイプなので。展示では01のフライングを切っていたので起こしは様子を見た。ちよつと5日目辺りからズレている感じがあっていい時はターンの押しからの繋がりが良かったんだけど。1マークは理想のターンじゃなかったし漏れてしまった、舟足は変わらず良かったけどもう少し綺麗に回ったかった。

戸田は初優勝でいいイメージはついたか？

狭いし変わらないかな(笑)。でも、今節みたいに乗りやすさがあればいい成績を残せると思った。僕なりにターンの良かったのが合格ですね。次回走る機会があればまた試してみたいです。

賞金ランクも上がってグランプリも見えた。

出たいという意識はないかな。本当にプレッシャーが半端ないので。もういいかな、みたいな(笑)。僕には荷が重いです。

今後の目標は？

やることは一緒ですね。今までやってきたことをやるだけです。





① オールスターからのSG連続優出となった峰竜太
② 片岡雅裕は昨年のメモリアル以来のSG優出
③ 直前でF2になりながらも、5日目には白星を挙げた毒島誠
④ 関浩哉はオープンングセレモニーでF2の毒島に愛のあるいじり
⑤ 節イチの伸びを見せた湯川浩司
⑥ 徐々に復活の兆しを見せている石野貴之
⑦ 優良機を味方に活躍した原田幸哉

